

愛知県立大学国文学会の開催について

《日本近代文学研究アーカイブ 萩原朔太郎》論文にしなかった発表資料—「愛憐詩篇ノート」から「浄罪詩篇」へ—

毎年、卒業生の優れた論文発表や専門家をお招きしての講演を実施する愛知県立大学国文学会。今年も、近代文学をご専門にされている、都留文科大学副学長・名誉教授の阿毛久芳先生が、「《日本近代文学研究アーカイブ 萩原朔太郎》論文にしなかった発表資料—「愛憐詩篇ノート」から「浄罪詩篇」へ—」と題して講演を行います。

日時 2019年6月8日(土) 午後1時30分から午後4時30分ごろ

場所 愛知県立大学長久手キャンパス 学術文化交流センター多目的ホール(K棟)B1階

実施内容

I 総会

II 卒論発表

林智美「草双紙研究—黒本『百合花金剛力士』について—」

柴田薫「夢野久作研究—「死後の恋」を巡って—」

下廣日向「田村隆一研究—言葉のない世界」

III 講演

阿毛久芳 先生 (都留文科大学副学長・名誉教授)

「《日本近代文学研究アーカイブ 萩原朔太郎》論文にしなかった発表資料—「愛憐詩篇ノート」から「浄罪詩篇」へ—」

申込等 事前申込不要、当日会場にお越しいただければご参加いただけます。

担当教員 日本文化学部国語国文学科 伊藤伸江教授